

上関地点 平成23年度 環境監視調査結果について(報告書の概要)

平成23年度は、海水の濁りの調査を除き、環境監視計画に則って調査を実施した。
調査の結果については、各項目とも環境基準、管理目標値など関係する基準値を満足していた。

項目		調査時期	調査結果概要				
大気質	平成23年4月～ 平成24年3月 (連続測定)		二酸化硫黄、窒素酸化物については、環境基準に適合していた。浮遊粒子状物質については、5月2日から4日の3日間で黄砂の影響により環境基準を超過したが、その他の期間はすべて環境基準に適合していた。 【調査期間中の各最大値】				
			項目	単位	山頂局	四代局	
			二酸化硫黄 (日平均値の2%除外値)	ppm	0.005	0.006	
			二酸化窒素 (日平均値の年間98%値)	ppm	0.014	0.015	
浮遊粒子状物質 (日平均値の2%除外値)	mg/m ³	0.051	0.055				
騒音・振動		年1回 6月8日	騒音、振動とも管理目標値内であった。 ・騒音最大値:64dB ・振動最大値:30dB未満(振動レベル計の測定下限値)				
水質	海水の濁り	—	期間中、海域工事は実施していないため、測定を実施していない。				
	陸域工事排水の水質	月1回	水素イオン濃度、浮遊物質とも管理目標値内であった。 ・水素イオン濃度:6.6～7.5 ・浮遊物質:1～6mg/L				
陸生生物	ハヤブサ	月1回 (3～6月は2回)	鼻線島において、5月に雛を確認したものの、6月、7月には親鳥や幼鳥を確認できなかった。 なお、6月、7月を除く各月で親鳥は確認した。				写真 1
	植生	春・夏 各1回 5月9、10日 7月25、26日	イヨカズラを7箇所19株、ジュウニヒトエを40箇所663株、イヌノフグリを5箇所78株、ギンランを1箇所2株、キンランを1箇所6株、ビヤクシンを1箇所1株確認した。				写真 2
海生生物	潮間帯生物	年4回 4月18～20日 7月13、14日 10月25、26日 1月26、27日	植物ではクロメ、サビ亜科など64種、動物ではアマガイ、カメノテなど50種を確認した。 【確認種類数】・植物:春 50種、夏 44種、秋 28種、冬 42種 ・動物:春 33種、夏 35種、秋 34種、冬 39種				写真 3
	海藻草類		クロメやノコギリモク、サビ亜科など66種を確認した。 【確認種類数】春 49種、夏 43種、秋 30種、冬 40種				
	底生生物		ムラサキウニやアカウニなど6種を確認した。 【確認種類数】春 6種、夏 6種、秋 4種、冬 6種				
スナメリ	3月～10月 (週1回・計35日)	確認回数は計51回、確認頭数は延べ94頭を確認した。 地元漁業者からの目撃情報は、8月に1件2頭であった。					
カクメイ科等の貝類	年4回 5月16～18日 8月9～12日 11月8～10日 2月6～8日	2月にカクメイ科の貝類を1個体確認した。その他の期間は確認されなかった。 タイドプール内の水質、底質については、顕著な変化は見られなかった。 落石の危険性があるため、安全を考慮して、タイドプール2箇所のうち1箇所調査を実施した。				写真 4	

【参考】その他の環境調査

○カラスバト

平成23年度の調査の結果、計画地点では姿・鳴声とも確認はなかった。

なお、鼻線島では7月を除く各月で姿や鳴声を確認した。

○カンムリウミスズメ(写真5)

平成23年度の調査の結果、周辺海域において17回延べ43個体を確認した。

○ウミヒルモ(写真6)

平成23年9月12日～17日に上関町および平生町の21調査地点において調査した結果、田ノ浦を含む20地点で生育を確認した。生育環境から比較的静穏な砂泥域に生育する傾向にあった。

【環境基準，管理目標値一覧】

項 目		環境基準または管理目標値
大気質	二酸化硫黄	環境基準：1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下
	二酸化窒素	環境基準：1時間値の1日平均値が0.04ppm～0.06ppmまでのゾーン内またはそれ以下
	浮遊粒子状物質	環境基準：1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下
騒 音		管理目標値：85dB 【参考】騒音規制法に基づく「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」を準用
振 動		管理目標値：75dB 【参考】振動規制法に基づく「特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準」を準用
海水の濁り	浮遊物質	管理目標値：バックグラウンド+10mg/L以下
陸域工事排水	水素イオン濃度	管理目標値：5.0以上9.0以下
	浮遊物質	管理目標値：日平均150mg/L以下

【調査写真】

写真1：ハヤブサ



巢内の雌と雛(5月10日 撮影)

写真2：植生



イヨカズラ



ジュウニヒトエ



イヌノフグリ



キンラン



ギンラン



ビャクシン

写真3:海生生物



クロメ



アマガイ



ムラサキウニ



サビ亜科



カメノテ



アカウニ

写真4:カクメイ科の貝類



(2月7日 タイドプール)

写真5:カンムリウミスズメ



(8月4日 現後鼻北西)

写真6:ウミヒルモ



(周辺海域での確認)



(1月30日, 天田島南)



(3月22日, 鼻繰島北西)

以上